

きたおか ともこ

(表紙の作品)
パリ、フランス

作品名：Composition, 2020

技法：バティック、藍染

素材：絹

サイズ：70cm×50cm、4点連作

紙漉思考室 | 角寿子

唐津市 | 小樽市

2015年に福岡で展示された紙漉思考室の和紙と展示風景の画像を見て、その後、唐津の工房を訪ね、楮と手漉きの美しさ、工房から伝わる仕事への姿勢に惹かれ、私の作品のイメージとデザインをお伝えし、紙漉をお願いしました。今回は流し込み漉きにより制作されています。その和紙を小樽で蒟蒻糊と灰汁で下地を作り、工房の4種類の藍建液から、2つを選んで藍染を重ね、揉んで表情を創りました。

和紙材料：中国産白楮、流し込み漉き

藍染料：蓼藍すくも、自家製タデアイ沈澱藍、

自家製ウオードすくも、灰汁麩発酵建

サイズ：122cm×122cm、4枚



氏田真弓

横須賀市

藍紬着尺 (すくも藍発酵建先染手織)

経糸：「ぐんま200」春蚕の生繰り糸、

緯糸：福島の間根商店手紡糸

縞紬帯 (天然染料36色染)

経糸：「ぐんま200」春蚕の生繰り糸、

緯糸：福島の間根商店手紡糸、真綿染手引き糸



2020国際天然の色展

会場：札幌モエレガラスのピラミッド

HIDAMARI スペース1、2

日時：9月20日(日)13:00-17:00

21日(月)10:00-17:00

22日(火)10:00-15:00



齋田次郎 橙緑屋

飯能市

作品名：天然染料顔料手描き友禅染紬帯

染料・顔料：エンジュ蕾、クルミ果皮、蓼藍顔料

内容：天然染料顔料を使い、糸目糊には餅粉を使っています。引き染めという技法で刷毛でぼかし染めますので、綺麗なグラデーションが染まります。



道家良典・道家由利子 紅型工房ひがしや

今帰仁村、沖縄

さまざまな国の影響を受けてきた紅型。技法に強い縛りはなく、縛りがないからこそ難しい紅型。

今回は地色を顔料で染め、植物染料を上掛けしました。

ウチクイ1：2020年制作 道家良典

素材：麻、顔料、植物染料（福木）媒染剤に石灰

サイズ：58センチ×67センチ

ウチクイ柄飾り布：2020年制作 道家良典、道家由利子

素材：麻、顔料、植物染料（福木）媒染剤に石灰

サイズ：58センチ×140センチ

打掛：青色地紅型衣裳、2017年制作 紅型工房ひがしや

素材 絹、顔料、酸性染料



五十嵐里美

川崎市

・ゆりかご Cradle

シルクオーガンジーの布を使って繊細な透明感を出しました。布の中の白い丸いかたまりは真綿を丸めたものではありません。真綿のかたまりを布と布の間に挟んで縫い付けてから金と銀の刺繍糸で刺繍をしています。

・青の風景 Bule landscape

私は日本の伝統的な刺繍の技法の刺し子をしています。この作品はリネンの布に刺し子をして異素材のアルミ板を組み合わせて「青」をイメージしました。刺し子はトーンの違う青い色で一目刺しという技法を使い、丸・三角・四角を刺繍しています。

・生まれる Be born

リネンの布を丸い形に何回も並縫いをして半球を作ってから丸い型にはめて固定、真綿を薄く貼り付けました。

・イマジネーション Imagination

この作品は絞り染の技法のひとつである「唐松絞り」をしています。平面的な布が技法によりいろいろな形に変化し、立体的なものになり、布の違った美しさを表現しました。